

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	地域型交通システム整備事業			事業コード	2105
担当課等	所属名	建設部 交通政策課	担当係名		
	課長名	建設部 交通政策課	担当者名	西村ふみ代	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	総合交通体系の確立	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 9目 バス関連事務(001-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 平成17年度~)		
事務事業の概要	公共交通機関であるバスを利用することが不便な地域(バス空白地域)を対象に地域の特性に合わせた公共交通の運行システムを構築する。					
根拠法令等	この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)					
	<p>玉山区は、鉄道及びバス路線が国道沿いに集中し区内を移動するための公共交通機関がないため、区内の移動及び鉄道駅へ接続する交通手段が望まれている。また、盛岡地域の中心市街地及びその周辺部では、道路幅員などの問題があるためバスが運行できない地域がある。これまで、オムニバスタウン事業により市内を運行するバス路線の充実を進めてきた一方で、市内における移動の利便性に地域差が生じていることから、当該事業を実施することとした。</p>					
	この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか					
	<ul style="list-style-type: none"> 玉山区では、地元住民及び議会から地区内の公共交通機関の整備を要望されている。 盛岡地域では、つつじヶ丘団地などから団地内を運行する路線バスの開設を要望されている。 郊外部のバス路線がない地域では、車を運転しない高齢者及び学生の移動に公共交通機関の整備を求める意見がある。 					
	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか					
	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年2月に道路運送法が改正され、路線バス事業の参入・撤退が許可制から届出制になったことから、市内でも採算の取れないバス路線の廃止が増えており、今後、バスを利用することが不便な地域が拡大することが予想される。 また、平成23年度から国の補助制度が新しくなり、制度の活用も視野に入れた運行システムの構築が必要となる。 高齢化が進んでいる地域があり、自動車などを運転することが出来ない交通弱者が増えることが予想され、公共交通に対する需要が増えることが見込まれる。 国において交通基本法及び交通基本計画の準備が進められており、今後、これらの理念に沿った事務事業の検討が必要となる。 					

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	バス空白地域	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 運行システム検討対象地区数	単位	箇所
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <p>【玉山区】いわて銀河鉄道沿線地域等活性化協議会の事業として、渋民駅及び好摩駅に接続する無料バスの実証運行を行った。 【つつじヶ丘】平成20年12月から行っているつつじヶ丘団地内を運行する新庄循環線の実証運行が、平成22年12月から本格運行に移行した。</p> <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>【玉山区】既存の鉄道及び路線バスと連携する玉山区内の移動に最適な運行システムについて関係課及び地域住民とともに検討を行う。</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 検討会の開催回数	単位	回
				B. 地元説明会の開催回数(アンケート回数含む)	単位	回
				C. 実証運行の実施箇所数	単位	箇所
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	バスを利用することが不便な地域を減らす	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 対象地区のうち実証運行を実施した箇所の総数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	箇所
				B. 実証運行から本格運行へ移行した箇所数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	箇所
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	総合的な交通体系が確立され、快適に移動できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「快適に移動できる」と思う市民の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	運行システム検討対象地区数	箇所	2	2	2	2	1		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	検討会の開催回数	回	10	2	10	1	3		年度
活動 指標B	地元説明会の開催回数(アンケート回数含む)	回	1	5	3	3	3		年度
活動 指標C	実証運行の実施箇所数	箇所	2	1	2	3	2		年度
成果 指標A	対象地区のうち実証運行を実施した箇所の総数	箇所	2	1	2	2	0		年度
成果 指標B	実証運行から本格運行へ移行した箇所数	箇所	0	0	未定	1	未定		年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,800	500		1,400			*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	1,400						*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	500	0	1,400	0	0	*****
	⑧その他	千円	1,400						*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,800	500		1,400			*****
	延べ業務時間数	時間	150	120	150	300	150		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	600	480	600	1,200	600	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,400	980	600	2,600	600	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:バス空白地域を解消することは、公共交通網が充実し、快適な移動ができる環境につながる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:バス空白地域は、事業者の経営努力のみでは採算が見込めない、あるいは採算性に不安がある地域である。このため、市が地域及び事業者と協議しながら最適な公共交通の運行システムを構築する必要がある。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:公共交通機関がない地域をバス空白地域としているが、対象地域となる規準を明確にする必要がある。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:バス空白地域を解消することは、公共交通網の充実につながる。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:実証運行から本格運行への移行には、一定の利用があることが条件となるため、利用者や地域で乗って維持する意識を高める手法が必要となる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:バス空白地域は、自分で自動車を運転できない交通弱者である高齢者が多い住宅団地や郊外部であり、高齢化がさらに進む将来、通院や日常の買物などの日常生活を維持するための移動手段の確保が必要である。 ・玉山区は、合併協議の中で緊急度が高い事業として取り扱われていることから、盛岡地域及び都南地域との公共交通機関のサービスレベルの格差が一層広がり、合併の成果に疑問の声が出る事が予想される。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:患者輸送バス及びスクールバスの運行 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容:患者輸送バスやスクールバスへの一般市民の混乗ができれば、新たなバス路線の開設をすることなくバス空白地域が解消できる可能性がある。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:この事業に係る費用は、主に実証運行に要する経費であり、必要最低限の額である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:人件費は、会議や調査事業及び連絡調整に要する時間数である。地域に合わせた公共交通を構築するためには、地域の意見やニーズを把握することは必要条件である
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:この事業は、盛岡市総合交通計画やもりおか交通戦略に基づく事業である。また、バス空白地域は、路線バスの再編を行ったオムニバスタウン事業の実施地域でないことから、事業を実施することで、公共交通の恩恵を市民が平等に享受することができる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:バスの利用者は運賃の支払により応分の負担をしている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス空白地域を明確にしたうえで、地域の交通環境や住民の移動状況に沿い、既存の交通手段を活かした仕組みを検討する。 ・利用者や地域が、新規または既存に関わらず公共交通機関に乗って維持する意識を高める。 <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の交通手段(路線バス、市が運行している患者輸送バス及びスクールバス)及び地域の要望について関係者との調整が必要となる。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>22年度は、玉山区の一部について需要調査を行い、既存の交通手段活用についての今後の方向性を検討するための基礎資料を得た。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>23年度については、これまでの調査結果を踏まえた既存の交通手段の活用に対する具体化を図る。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										